

協会に事務局を置く団体

神奈川県消化器がん検診機関一次検診連絡協議会	
設立年月日	昭和57（1982）年 2 月
代 表	会長：細川 治 （国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 院長）
会 員 数	会員機関11＋相談機関 2 （2021年 7 月現在）
設立の主旨	
県内における老人保健法（昭和57・1982年度～平成19・2007年度）および健康増進法（平成20・2008年度～）に基づく消化器がんの住民検診を行う一次検診実施機関の精度管理の向上、行政、学会、医師会をはじめとする関係機関との連絡協調を図り、共通の諸問題の研究、技術の向上を目指して討議を行い、消化器がん検診の充実、発展を図る	
本年度の主な活動	
1. 協議会の開催 （1）第88回協議会 書面開催 2. 幹事会の開催 （1）第106回幹事会 令和 2 年 7 月28日 3. 研修会 開催中止 4. 技術部会 （1）第 1 回 令和 2 年 7 月22日 開催中止 （2）第 2 回 令和 2 年 9 月23日 開催中止 （3）第 3 回 令和 2 年11月25日 開催中止 （3）第 4 回 令和 3 年 3 月30日 開催（オンライン） 5. その他 令和 3 年 2 月に当協議会Webを一般公開	
事務局担当	新保文樹（業務部）

（公社）日本作業環境測定協会神奈川支部	
設立年月日	昭和56（1981）年 7 月
代 表	支部長：灰塚正隆
会 員 数	27機関（2021年 3 月現在）
設立の主旨	
作業環境測定士の資質向上と測定技術の精度向上、測定機関の業務改善などを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆会議 ①総会 1 回 ②理事会 2 回 ③技術専門委員会 6 回 ④機関全体集会 1 回 ◆第一回技術研修会（2019.6.11） 令和元年度の労働衛生行政の動向 （神奈川労働局 安部昭彦氏） ◆作業環境測定評価推進大会（2019.9.27） ①最近の労働衛生行政の動向 （神奈川労働局 塚田啓子氏） ②最新のリスクアセスメント手法について （中央労働災害防止協会 山室堅治氏） ③有機溶剤の健康障害について （クボタ 加部 勇氏） ◆第二回技術研修会（2020.2.3） ①たばこ煙の健康障害と分煙対策 （神奈川県予防医学協会 芦田敏文氏） ②作業環境測定実施事業場における環境改善事例 （オオスミ、相新、山梨厚生会） ③測定機器メーカーによるプレゼンテーション （スリーエム、柴田科学、アイデック、光明理化学） 今年度はコロナ禍のため活動ができなかったもので、昨年度の活動を記した。	
事務局担当	芦田敏文（専門委員）

神奈川県健康管理機関協議会	
設立年月日	昭和56年（1981）年
代 表	代表幹事：（公財）神奈川県予防医学協会
会 員 数	14機関（2021年 3 月31日現在）
設立の主旨	
県内において企業等の健康管理支援業務を行う企業外健康管理機関が、より質の高いサービスを提供するため、健康管理全般に関する支援として、精度の向上、適正な事業の運営等、共通の諸問題を協議検討すると共に労働衛生行政へも積極的に協力していくことを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆年 2 回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ◆神奈川労働局からの提供資料による会員機関への情報提供を行った	
事務局担当	雨宮 徹（業務部）

神奈川県学校・腎疾患管理研究会	
設立年月日	昭和50（1975）年
代 表	会長：新村文男先生 （東海大学小児科 准教授）
会 員 数	約90人（2020年 4 月現在）
設立の主旨	
各地区医師会・自治体・大学医学部・病院・学校・検診機関が相互に連携し腎疾患対策を行い児童・生徒の健康に寄与すべく事業を展開	
本年度の主な活動	
◆学校現場との連携事業 ◆神奈川県学校検尿判定委員会合同会議 ◆医師部会 ◆定例研究会 コロナ禍のため、会議、研修会等は、中止 ◆機関誌 2020年度活動中止のため未発行	
事務局担当	佐藤光宣（業務部業務 1 課）

子宮がん車検診実施検討会	
設立年月日	昭和46（1971）年
代 表	世話人：上坊敏子先生 （社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター顧問）
会 員 数	構成医療機関等 ○協力医療機関 北里大学・東海大学・横浜市立大学・聖マリアンナ医科大学・日本医科大学の産婦人科 ○神奈川県立がんセンターの婦人科腫瘍専門医 ○協会細胞診専門医
設立の主旨	
子宮がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。昭和58（1983）年老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として検討会を継承し、運営をしている。	
本年度の主な活動	
◆年1回検討・報告会 書面にて開催 ◆検討・報告内容 車検診の集積データを検証し、発見症例の再検討などを実施して、精度の維持向上に役立てている。	
事務局担当	佐藤光宣（業務部業務1課）

神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会	
設立年月日	昭和60（1985）年
代 表	会長：福田 譲（聖マリ大 B&Iセンター院長）
会 員 数	○乳がん検診（視触診・読影）協力医療機関 視・触診協力機関 20機関 読影協力機関 12機関 横浜市立大学附属病院・昭和大学藤が丘病院・横浜南共済病院・聖マリアンナ医科大学病院・藤沢湘南台病院・茅ヶ崎市立病院・平塚共済病院・小田原市立病院・山近記念総合病院・秦野赤十字病院・東海大学病院・伊勢原協同病院・平塚市民病院・海老名総合病院・相模台病院・湘南記念病院・東名厚木病院・横浜市南部病院・北里大学病院・神奈川県立足柄上病院・国立病院機構相模原病院・国際医療福祉大学熱海病院・大和市立病院・相模野病院・プレスティアたまプラーザ・神奈川県立がんセンター・聖マリアンナ医科大学附属研究所B&Iセンター（2020年7月現在）
設立の主旨	
乳がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として神奈川県乳がん集団検診協議会を継承し、運営をしている。MMG運営委員会：上記連絡会の下部組織として、マンモグラフィ読影精度管理を目的として設立。	
本年度の主な活動	
1. 連絡会・MMG運営委員会 合同開催 3/12（リモート開催） 2. 症例検討会 第1回：8/28 7機関7名（リモート開催） 第2回：11/27 9機関11名（リモート開催） 3. 学会発表 第30回日本乳癌検診学会（11/22-23 仙台市） 平塚市民病院 米山公康先生	
事務局担当	山本寛典（業務部業務1課）

ピンクリボンかながわ	
設立年月日	平成18（2006）年4月
代 表	代表：土井卓子（湘南記念病院 乳がんセンター長）
会 員 数	協力団体27団体（2021年7月現在）
設立の主旨	
乳がんの早期発見・早期治療をめざして、乳がん検診の受診率向上と乳がんについての知識の普及・啓発を目的として設立	
本年度の主な活動	
◆県内での活動 本年度の「ピンクリボンかながわ2020」は、新型コロナウイルスの感染拡大により、参加者及び関係者の安心・安全を第一に考慮した結果、例年9月の開催イベントは中止した。新たな啓発活動として、同ホームページより動画による非対面型活動をYouTubeを活用して開始した。 ◆「湘南モノレールピンクリボン号リニューアル」 10/17湘南モノレール開業50周年の記念事業の一環として、ピンクリボン号が運行開始から5年目を迎え、更にピンクリボン月間と併せ、鎌倉市、藤沢市、ピンクリボンふじさわとピンクリボン号のリニューアルを行った。 ◆「withコロナ時代のピンクリボンかながわ交流会」開催 3/27コロナ禍でピンクリボン運動の自粛が相次ぐなか、神奈川県内で運動に取り組む企業、団体、教育機関、サバイバーらがつながりを深め、情報交換のための交流会を開催。当日は密をさけるためにYouTubeでの同時配信も行った。	
事務局担当	野口正枝（検診計画部）

神奈川乳房画像研究会／神奈川乳房超音波画像研究会	
設立年月日	平成10（1998）年12月／平成18（2006）年3月
代 表	世話人代表 加藤善廣
会 員 数	27人（2021年9月現在）
設立の主旨	
乳がんの早期発見・治療の為、画像診断や装置の精度向上に役立つ情報提供や普及活動	
本年度の主な活動	
◆世話人会 3回開催 ・2020年7月7日～7月14日（メール会議） ・2020年10月15日～10月22日（メール会議） ・2021年3月5日（Web会議） ◆研究会 コロナウイルスの影響により中止 ・第62回画像研究会・39回超音波画像研究会 2020年5月23日（土） 会場：川崎市立多摩病院 主要講義「乳房同時再建」 南共済病院 加藤直人先生 ・第63回画像研究会・40回超音波画像研究会 2020年10月24日（土） 会場：未定 主要講義「乳がん検診について」 横浜栄共済病院 俵矢香苗先生 ◆他活動内容 コロナウイルスの影響により中止 ・横浜市医師会主催 ポジショニング研修会 ・超音波画像研究会主催 ハンズオンセミナー ・神奈川県医師会主催 MMG撮影技術講習会	
事務局担当	見本喜久子・関春花（放射線技術部）

禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	
設立年月日	平成11（1999）年11月5日
代 表	会長：長谷 章
会 員 数	個人会員145人、法人会員9 法人 (2021年5月現在)
設立の主旨	
県内の禁煙・受動喫煙防止の普及啓発活動の目的で設立	
本年度の主な活動	
◆総会・講演会 5月（書面開催） ◆常任理事会 3回（1回は書面開催、2回はオンライン開催）、理事会は未開催 ◆会員による講演会、セミナー 40回 対象者5272人（オンライン開催のため未把握数あり） ◆かながわ卒煙塾、かながわ卒煙サポートセミナーへの協力講師派遣 5回 ◆イベントへの参加 イベント中止 ◆関連会議への協力 神奈川県（資料提出）、横浜市の会議へ参加（意見書提出）	
事務局担当	栗原 博（専門委員）

スモークフリー推進かながわ基金	
設立年月日	平成22（2010）年
代 表	委員長：笹生正人（県医師会理事）
会 員 数	委員6人（委員長含む、2021年9月現在）
設立の主旨	
受動喫煙防止を浸透させ、自らの意思で受動喫煙を避けることができる環境の整備を促進するため、県民、法人等からの寄付金を原資として設立	
本年度の主な活動	
◆「イベント・シンポジウム開催」事業 (1)受動喫煙防止県民向けイベントへの協力 (新型コロナ感染症拡大の影響で中止) (2)受動喫煙防止キャンペーンへの協力 (新型コロナ感染症拡大の影響で中止) ◆「広報普及啓発」事業 (1)ホームページによる情報提供 (2)啓発グッズ作成 (新型コロナ感染症拡大の影響で作成せず) ◆「未成年者等喫煙防止教育」事業 (1)受動喫煙防止県民向けイベントへの協力（再掲） 上記の通り ◆「スモークフリー・サポーターズ・クラブ」事業 (1)スモークフリー・サポーターズ・クラブの運営・管理 (参加費の徴収、缶バッチの交付はなし)	
事務局担当	栗原 博（専門委員）

神奈川学校保健研究会	
設立年月日	昭和43（1968）年9月
代 表	会長：鈴木晴美
会 員 数	24人（2021年3月現在）
設立の主旨	
県内の養護教諭ら、学校保健関係者が自主的に研修する場として設立	
本年度の主な活動	
◆月例会6回（招待講師によるハイブリッド型オンライン講演。当協会3階・健康測定室を会場に若干名の会員が参加、他はオンライン視聴） 7月18日、9月26日、10月17日、12月12日、2021年1月16日、2月20日 延べ72人参加 ◆第52回夏期講習会 新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	
事務局担当	船崎隆文（健康創造室企画課）